

Circolo Mandolinistico Flora

45th Anniversary Concert



世界のテノールがチルコロ・フローラと共に歌い
大阪で活躍のマンダリン合奏団がチルコロ・フローラと共演します。
創立45周年を記念して二組のゲストを迎えて贈る
マンダリン音楽の響きをお聞きください。



チルコロ・マンダリニスティコ・フローラ 創立45周年記念演奏会

平成22年10月10日(日)

◎午後12時3分開場 午後1時開演 ◎仙台市青年文化センターコンサートホール
◎入場料2,000円(全席自由) ◎お問合せ:022-221-2479(高橋)

◎指揮/高橋 五郎

◎ゲスト/アンドレア・チェザレ・コロネッラ(テノール)/アンサンブルフィオーレ・ディ・オオサカ(大阪で活躍中の女性合奏団)

《主な演奏曲目》

- C.P.Oラプソディー/スカルツィーナ ●スラブ舞曲 6番/ドボルザーク ●帰れソレントへ/グルティス
- ウクライナの思い出/フェラリス ●歌劇トゥーランドットより誰も寝てはならぬ/プッチーニ

【主催】チルコロ・マンダリニスティコ・フローラ 【協賛】仙台日伊協会 【助成】(財)カメイ社会教育振興財団

【後援】イタリア大使館、(財)仙台市市民文化事業団、宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、 河北新報社、 仙台放送局、
TBC東北放送、 山形放送、KHB東日本放送、Date fm、日本マンダリン連盟、(社)宮城県芸術協会

【プレイガイド】(株)ヤマハミュージック東北仙台店、カワイミュージックショップ仙台、サンリツ楽器店、(株)イケガク、(株)フレット楽器オザキ大阪店
仙台市青年文化センター1階「カフェレストランけやきの社」



Circolo Mandolinistico Flora

45th Anniversary Concert

出演者プロフィール



アンドレア・チェーザレ・ コロネッラ(テノール)

1976年イタリア・ナポリ生まれ。ナポリにてカルメン・ルチェッティとヴィルジノー・プロフェータのもとで声楽を始める。1995年キジアーナのアカデミーで往年の名テノール、カルロ・ベルゴンツィ氏に師事。その後、2001年スポレートオペラコンクールで優勝。バルマ・レージョ歌劇場にて「リゴレット」(マントヴァ公爵)でデビュー。モデナ歌劇場、ジェノヴァ、ベルガモ、レッチエ、カタニアなどの歌劇場で歌う。また、ポローニャ歌劇場・カタニア・ペリーニ歌劇場の東京公演をはじめヴァレンシア、マドリッド、サラマンカ、モンテカルロ、ヘルシンキ、テルアビブ、など世界の歌

劇場でも活躍している。

最近ではアメリカにも活動を広げ、デトロイトで行われたレナータ・スコット演出「夢遊病の女」(ベッリーニ作曲)に出演。大絶賛された。

三大テノールの故ルチアーノ・バヴァロッチィは彼を「私の弟子」と呼び新聞でも紹介された。日本にはイタリアオペラの東京引越し公演に度々参加、来日を重ねている。

2008年8月には堺市ブッチーニ記念コンサートでそのすばらしい歌声を披露。現在、バヴァロッチィの後継者として最も注目されているテノールである。

アンサンブル フィオーレ・ディ・オオサカ

1986年、大阪樟蔭女子大学マンドリンクラブの卒業生有志により結成。以来、大阪を中心に幅広い演奏活動を展開。2年に一回の定期演奏会をはじめ、日本マンドリン連盟主催の演奏会、サロンコンサート、各種依頼演奏会等に多数出演。近年は福祉活動にも積極的に参加。

美しいサウンドと表現力豊かなアンサンブルは絶妙で、イタリアのマンドリンオリジナル曲、オペラの編曲もの、カンツォーネ等の演奏では高い評価を得ている。2009年7月、熱望していた高橋五郎氏を客演指揮に迎え演奏会を開催、大盛況に終わる。



指揮 高橋五郎

12歳よりマンドリンをはじめ。高校時代に木下三郎氏、昭和39年に田中常彦氏に師事する。

昭和38年、東北学院大学プレクトラム・ソサエティーを創設。昭和40年、チルコロ・フローラを結成主宰。

昭和45年、初のソロリサイタルを開催。また昭和48年ヨーロッパに遊学、イタリアのニーノ・カタニア氏に師事。帰国後、東京、仙台、古川、山形、盛岡等でリサイタルを開催。宮城県芸術協会理事、仙台日伊協会理事、日本マンドリン連盟常任理事。現在、高橋マンドリン音楽研究所を主宰し、各種演奏会への出演や、各学校、自宅教室、NHK文化センター仙台・泉等で指導を行っている。

宮城県平成20年文化の日表彰では、教育文化功労部門において「多年にわたり音楽家(マンドリン奏者)として優れた演奏活動を行うとともに、後進の指導・育成に努め、音楽界の発展と芸術文化の振興に寄与した」として受賞、表彰された。

